編集後記：気象庁の本庁舎が大手町から虎ノ門に移転して，およそ半年が経過しました．旧大手町庁舎の竣工は1964年．新虎ノ門庁舎の竣工は2020年．何かに気が付きませんか？そう，どちらも東京オリンピックの年です．いや「の，はずでした」と言うべきですね．コロナ禍によるオリンピック開催延期がなければ……．気象庁の庁舎移転は，たまたまコロナの新規感染者数が比較的落ち着いた時期に行われ，大きな支障をきたすこと無く終わりました．ありがたいことです．

ところで，皇居のお濠沿いにある千代田区大手町の旧庁舎から，再開発が進み高いビルの建ち並ぶ港区虎ノ門の新庁舎まで，直線にして約3キロしか離れていないのに，周囲の雰囲気が全然違う，と多くの職員が言います．私が虎ノ門庁舎の周囲を初めて訪れたときの印象は「空が狭いな」でした．皇居に面する大手町庁舎は，西側が開けて都会の割に空が広く，個人的には夕焼けが好きでした．また，お昼休みには，皇居東御苑を散歩することが良い息抜きになっていました．もうすでに懐かしい……．

いや，もちろん，虎ノ門もいいところですよ．我が予報課の10階事務室や予報作業等を行う9階オペレーションルームからは，東京タワーが“たもと”から“てっぺん”まで，とてもカッコ良く見えます．日が暮れてからの残業中や，予報当番の夜勤中に見えるライトアップされた東京タワーの美しいこと美しいこと．昼休みには，23区内の自然の山としては一番標高の高い愛宕山が散歩にぴったり．桜や新緑，紅葉，それに神社やお寺など，心の休まる落ち着いた時間を過ごせます．定時後には，庁舎から5分も歩けば，町名表示に“赤坂”，“六本木”など，私には縁が無さそうだった地名が見え，都会人になったような気持ちを味わうことができます．そうそう，甘党にとっては庁舎近くの老舗和菓子屋さんの豆大福の存在も忘れてはいけません．

それはさておき，せっかくの機会ですので，移転に関して誰かに話してみたかったエピソードを一つ紹介させてください．大手町庁舎で，予報作業を行う現業室の移転作業後の後片付けを担当したのですが，全ての作業を終え消灯しようとしたその時，あることが起こりました．業務開始以来，おそらく何十年も完全に消されることがなかったと思われる現業室の照明です．現業室は広いので，照明のスイッチは何か所かに分かれて設置されています．中には，模様替え等でスイッチが移設され，なんでこんなところに？というのもありました．そんな感じで，順番にスイッチをOFFにしていきましたが，ある一角だけスイッチが見つからず，どうしても最後の照明が消えません！そのときにいた職員総出で，宝探し感覚であっちにもぐり，こっちにもぐり．埃まみれになりながらどれくらい探したでしょうか．結局スイッチは見つからず．ある頭の回転の速い職員の閃きで，器具から蛍光灯を抜きさり，ようやく完全消灯に成功しました．すっかり遅い時間になって，真っ暗になった現業室……．外に出て振り返ると，初めて見る真っ暗な庁舎……．こみ上げるものを感じながら，心の中で「長い間ありがとう」と，声をかけました．

そういえば，今回の移転時に，庁内のあちこちの廃棄物置場で「天気」が山積みになっていました．ちょっぴり切ない．でも，溜まっちゃいますよね．そんなときは，学会のwebサイトで募集中の冊子体配布不要会員になれば，郵送料の削減に貢献できるばかりでなく，引っ越しのときに荷物が減らせますよ，と天気PDF版の宣伝でした．

（金田昌樹）